

弾道ミサイルの発射

1 事前の対策

- ・ Jアラートが発信された場合の対応方針や臨時休業等の連絡方法などについて、児童や保護者への周知を徹底しておく。
- ・ 自治体の関係機関と連携し、情報収集や通信手段等について確認する。
- ・ 下記のポイントを指導して児童が安全に行動をとることができるように、安全教育を充実させる。

〈屋外にいる場合〉

- ・ できる限り頑丈な建物に避難する。

〈建物がない場合〉

- ・ 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

〈スクールバスの中にいる場合〉

- ・ 乗務員の指示に従う。

2 発生時の対応

状況の把握・対応	<ul style="list-style-type: none">・ テレビ・ラジオ・インターネット等から正確な情報収集を行う。・ 教育活動中にミサイルが発射された場合、学校内外の安全状況を確認し、児童や教職員等の安全確保に努める。・ 状況に応じて児童や教職員、来校者等を安全な場所へ避難誘導する。・ 落下場所等についての情報を確認するまで避難を継続する。また、発射の時間が登下校時間帯の場合には、安全が確認されるまで登下校やスクールバスの運行を一時見合わせる。
落下後の対応	<ul style="list-style-type: none">・ 児童の安全を確認し、人的被害等が発生した場合には、警察や消防などに通報するとともに、保護者に連絡する。・ 臨時休業や授業時間の繰り上げを行う場合は、集団下校等、下校のための安全な手立てを講じ、保護者に連絡する。
村教委への報告	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職は、事故の概要について、速やかに村教委へ報告し、対応等について指導・助言を受けるとともに、状況の変化に応じて適宜報告する。・ 児童が精神的な不調を訴えた場合は、必要に応じて、スクールカウンセラー等の派遣を要請するなど、支援や助言を受ける。
報道等への対応	<ul style="list-style-type: none">・ 窓口を一本化し、管理職が当たる。